

令和2年度(2020年度)公共事業再評価調査

基準年月日	令和2年8月1日
作成責任者	建設部土木局河川砂防課砂防災害担当課長 松田 哲夫
担当係	災害復旧係(内) 29-425

調査番号	08-19	所管部	建設部
------	-------	-----	-----

I 基本事項(基準日時点)

事業種別	海岸高潮対策費(社会資本整備総合交付金)	地区名	みさきまちらんべつがいがみ 岬町知円別海岸	市町村名	羅臼町		
事業費	7,617 百万円	負担割合	国 55%	道 45%	市町村 0%	その他	0%
			4,189 百万円	3,428 百万円	0 百万円	0 百万円	

事業目的・目標	<p>●岬町知円別海岸は、根室沿岸北部に位置する羅臼町の海岸である。 海岸背後は、養殖漁業(コンブ)、採介藻漁業(天然コンブ、ウニ)、定置網漁業(サケ)等が盛んであり、水産業に携わる家屋が密集している地区である。 低気圧等による高潮や波浪から家屋、水産加工施設を防護すべく施設の整備を行ってきたが、平成26年など近年に越波・浸水被害が発生していることから、本地区の安全・安心を確保し民生の安定を図るため、海岸護岸を整備する。</p> <p>【アウトカム】等</p> <p>●海岸保全施設を整備することにより、浸水被害から住宅等51戸を保全する。</p>	<p>事業概要</p> <p>本事業では、越波・浸水被害が発生している区間のショウシ川の河口付近から知円別漁港までの約2kmに護岸を整備する。</p>	<p>【計画】 防護延長 L=1,940m</p> <p>護岸 L=1,940m</p> <p>測量設計費</p>	(百万円) 変更前	(百万円) 変更後
	計			6,913	7,617

総合計画での位置付け	施策名	大規模自然災害対策の推進	総合計画：大項目	生活・安心
	総合計画：中項目	強靱な北海道づくりとバックアップ機能の発揮	総合計画：小項目	大規模自然災害に対する北海道自らの脆弱性克服
	施策目標	台風や低気圧による高潮、高波などの自然災害から地域住民の生命・財産を守り国土保全を図るため海岸保全施設の整備を推進する。	関連する指標	高波や津波、海岸侵食、老朽化による施設倒壊による被害が予想される被害戸数のうち、浸水被害のある戸数を減少させる。38,310戸(R2)→36,950戸(R6)

II 公共事業評価経過

事業経過	事業採択	着手	評価年度	完了予定	経過年数	事業費	総事業費(a)	道負担額	当該年度事業費	累積事業費(b)	進捗率(b)/(a)
	事前評価又は当初	H27(2015)	H29(2017)	H55(2043)			6,913	3,111			
	前回評価										
	今回評価		H29(2017)	R2(2020)			R30(2048)	5	7,617	3,428	80

変更理由・内容	<p>事業期間の延伸～近年の事業費の平均から残事業の施工期間を精査したことによる。</p> <p>事業費の増～資材、労務単価の上昇による。</p>
---------	---

III 事業採択前の状況

1. 事業採択に至る経過と背景	<ul style="list-style-type: none"> ●平成18年 1月 低気圧により家屋等半壊2戸、干場流出、道道通行止め ●平成18年10月 低気圧により家屋等半壊5戸、干場流出 ●平成26年12月 低気圧により家屋等半壊5戸、浸水2戸 										
2. 事業検討の経緯(住民への把握等)	<ul style="list-style-type: none"> ●昭和36年 5月 海岸保全地区指定 ●平成18年10月 羅臼町より海岸保全施設整備要望(平成18年以降毎年要望) ●平成20年 1月～平成25年11月 対策工法について地元調整 										
3. 事業効果を及ぼす地域・対象	<ul style="list-style-type: none"> ●防護延長：1,940m ●防護面積：12.9ha ●防護人口：106人 ●家屋：38戸 ●事業所：13棟 										
4. 関連する事業	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>事業主体</th> <th>事業期間</th> <th>事業費(百万円)</th> <th>事業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	事業名	事業主体	事業期間	事業費(百万円)	事業内容					
事業名	事業主体	事業期間	事業費(百万円)	事業内容							

IV 事業の実施状況

1. 進捗状況	(1) 事業実績及び今後の計画															
	施工(工種)区分	工事内容	27	28	29	30	元	2	3	4	～	29	30	進捗状況	事業費(百万円)	
	護岸	L=1,940m													6%	7,454
	測量設計費	設計、調査													55%	163
	(2) 進捗状況															
	事業実施にあたり、支障となるものは特にないため、事業期間を変更し実施する。															
	<p>b</p> <p>a：概ね予定どおり実施している。</p> <p>b：事業計画(期間)等を変更し実施する。</p> <p>c：問題が生じ、実施に支障をきたしている。</p>															

2. 事業効果	経済効果の内訳(百万円)			費用の内訳(百万円)			B/C	備考	
	項目	R2現在	項目	R2現在	R2現在		2.70	○「海岸事業の費用便益分析指針(改訂版)(農林水産省・国土交通省)H16.6(R2.4一部更新)」に基づき算出 ・便益、費用ともにR2年に現在価値化及び50年間の維持管理費の計上により総事業費と異なる。	
	浸水防護便益	12,531	事業費	4,400					
			維持管理費	248					
	合計(B)	12,531	合計(C)	4,648					
	事前評価	：平成25年(2013年)							
	事前評価時B/C	：2.67							
	変更理由	：総事業費及び事業期間変更のため。							

3. コスト縮減などの取組	取組の項目	取組内容	縮減額(百万円)
	既存ブロックの再利用	既存消波ブロックを波除工、消波工として転用	186
	省力化と工期短縮	直立式護岸にプレキャスト製品を使用	424

V 評価								
1. 必要性	●本事業は、越波・浸水被害から人命や背後の家屋等を防護することが目的であり、その事業効果は大きい。また、今後の低気圧等による被害が懸念される等、事業の必要性に変化はなく、事業を継続して推進する。							
	a	a：事業の必要性に変化はなく予定どおり事業を推進する。			b：着工後の状況変化により事業計画の変更が必要である。			
2. 事業を推進する上での課題	(1) 環境上の配慮及び課題 ●施工時期を漁期（コブ漁（4～8月）サケ定置網漁（9～11月））から外すことで、生産活動に配慮している。 ※直近の評価以降の状況変化はない。							
	(2) 事業推進に対する住民の動向 ●高波浪や津波発生時の不安から、事業実施以降も毎年海岸保全施設の整備について、地元住民や町から、早期完成を強く要望されている。（根室地方総合開発期成会）							
	(3) その他の課題 ●特になし							
3. 事業達成の見込み	●事業期間が長期に及ぶものの、特に事業の支障となる事項は無く、順調に進捗していく見込みである。							
	a	a：現時点では事業の進捗に影響する課題はなく、達成が見込まれる。 b：課題はあるものの達成は可能である。 c：大きな課題があり達成には相当の困難が予想される。						
4. 対処方針	●事業の必要性に変化はなく、地元からも早期完成を要望を受けているため、令和30年度の完成を目指し、事業継続する。							
	a	a：継続 b：終了 c：休止 d：中止						
		事業期間の変更の有無	有	事業費の変更の有無	有	事業内容変更の有無	目的・規模等に係る変更 無	左記以外の変更 無
VI 備考								
1. 評価履歴	事前評価：平成25年度実施 評価結果：要望を行うことは妥当 B/C：2.67							
2. その他の取組事項								

補足資料

VII 事業計画変更												
事業期間	再評価 事前評価 又は当初	事業採択	着手	変更年度	完了予定	経過年数	事業費	総事業費(a)	道負担額	当該年度事業費	累積事業費(b)	進捗率(b)/(a)
								変更①	1回目	H27 (2015)	H29 (2017)	R2 (2020)
変更②												
変更③												
変更④												
変更⑤												
変更⑥												
変更⑦												
変更⑧												
変更⑨												
変更⑩												
変更理由・内容		変更①：事業期間の延伸～近年の事業費の平均から残事業の施工期間を精査したことによる。 事業費の増～資材、労務単価の上昇による。										

事業概要図 (1/2)

岬町知円別海岸 高潮対策事業

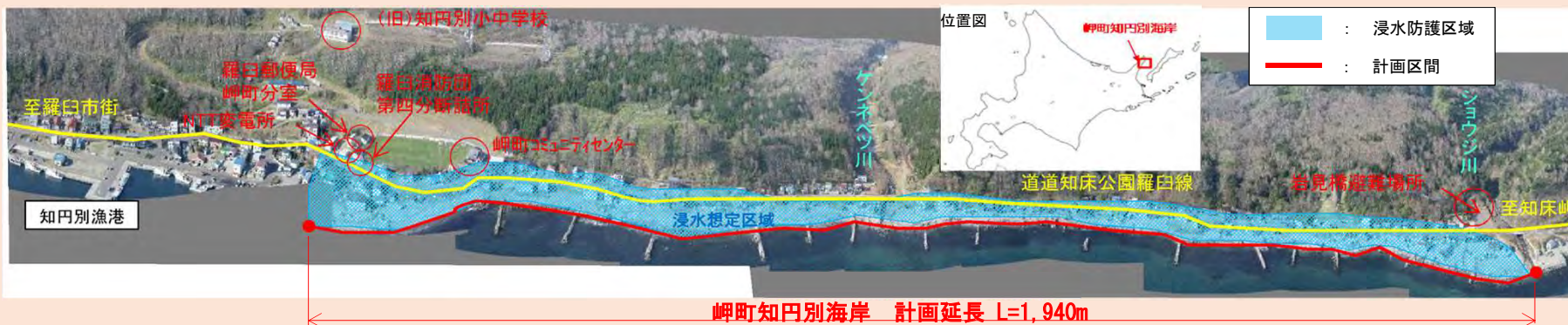
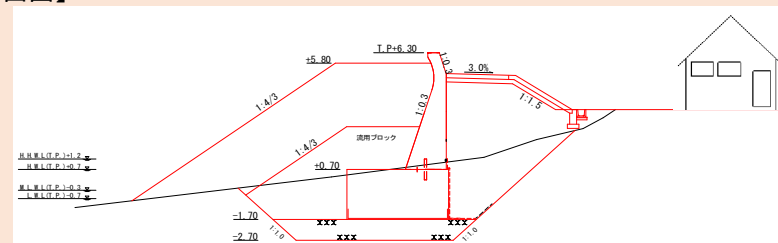
【事業の目的・目標】

- ・ 岬町知円別海岸は、根室沿岸北部に位置する羅臼町の海岸である。
- ・ 海岸背後は、養殖漁業（コンブ）、採介藻漁業（天然コンブ、ウニ）、定置網漁業（サケ）等が盛んであり、水産業に携わる家屋が密集している地区である。
- ・ 低気圧等による高潮や波浪から家屋、水産加工施設を防護すべく施設の整備を行ってきたが、平成26年など近年に越波・浸水被害が発生していることから、本地区の安全・安心を確保し民生の安定を図るため、海岸護岸を整備する。

【事業概要】

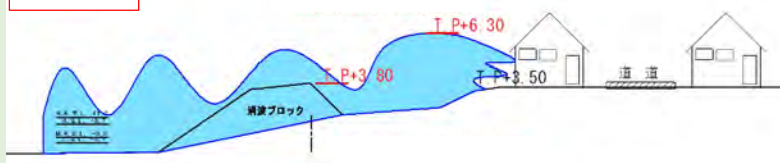
事業期間 平成27（2015）年度～令和30（2048）年度
 事業内容 護岸 L=1,940m
 総事業費 76.17億円
 事業効果 防護面積:12.9ha 防護戸数:家屋38戸 事業所13棟 防護人口:106人

【標準断面図】



【事業の必要性】

現況



低気圧時に背後用地及び漁業集落まで冠水する被害が発生。
 （平成26年12月17日の低気圧時に根室管内で最高潮位を観測し、過去最大の浸水被害となった）

対策後



護岸の整備により、背後用地及び漁業集落を浸水被害から防護する。

事業概要図 (2/2)

岬町知円別海岸 高潮対策事業

【越波の状況】



【被災の状況】



【護岸整備状況】



【高潮対策事業における受益区域】

岬町知円別海岸 計画延長 L=1,940m

